

議会運営委員会 他都市行政調査 実施報告書

愛知県東海市 11月16日(水) 議会運営と議会改革の取り組みについて

1. 東海市概要

人口：113,940人(令和4年9月末現在)

面積：43.43km²

合併：昭和44年4月1日に上野・横須賀2町の合併により東海市が誕生した。

2. 視察の目的

東海市議会の実施している議会基本条例の検証方法が条文毎に5段階評価による数値化するとともに、2分科会方式で効率的かつ慎重に検証され、特徴的・先進的な取り組みが実施されていることから、岩見沢市議会が現在作成中の議会基本条例の今後の検証方法について検討を行うため調査する。

3. 調査項目

◇議会基本条例の検証方法について

- (1) 議会基本条例検証の経過
- (2) 検証機関
- (3) 検証の手順・方法
- (4) 検証結果後の展開



4. 内容

◇各会派に属する議員(10名)で構成する議会基本条例検証特別委員会で検証内容を指定し、各条文の具体的な検証を2つの分科会で実施した。条文毎に「目的達成に向けた取組実績」「目標達成状況とその理由」「目的達成のための今後の取組と考察」を記述し、5段階評価を実施。5段階の指数評価の採用により、市民に分かりやすいものとなっている一方で、市民が評価に関わる場面は無く、中間報告や最終報告で市民に結果を周知した。

また、分科会に分けたことにより、集中的かつ効率よく協議が進み当初の計画どおり18ヶ月で検証が終了したが、しっかりと検証をするにはもう少し時間があっても良いとの意見もあった。

検証の特長としては、評価だけではなく、今後の取組と考察について委員同士で議論できるとともに、基本条例に基づく議会改革への共通理解が図られていた。

岩見沢市議会基本条例では毎年検証し、公表することと規定しているため、短期集中方式でいかに効率的に検証していくかが鍵となり、総則的な条文は検証対象から外すことや年次的に検証することも含めて今後、益々の検討を要することを認識した。

議会運営委員会 他都市行政調査 実施報告書

愛知県長久手市 11月17日(木) 議会運営と議会改革の取り組みについて

1. 長久手市概要

人口：60,871人（令和4年9月1日現在）

面積：21.55 km²

市制等：長久手市は昭和46年から愛知郡長久手町となり、平成24年1月4日に市制施行し長久手市となる。

2. 視察の目的

長久手市の実施している議会基本条例の検証結果は様々な意見を集約してうまく整理されている。また、議会からの情報発信については、広報紙はタブレットを使用した編集を実施し、市民に手に取ってもらいやすく、わかりやすい紙面となっており、参考になる事例として調査を実施。

3. 調査項目

◇議会基本条例の検証方法について

- (1) 議会基本条例検証の経過
- (2) 検証機関
- (3) 検証の手順・方法
- (4) 検証結果後の展開

◇市民との関係について（情報発信、意見聴取）

- (1) 情報発信と内容について
- (2) 意見聴取の方法と市民からの意見の反映について



4. 内容

◇副議長を座長とし、各会派に属する議員（6名）及び会派に属さない議員1名で構成する議会基本条例検証会議で検証シートを定め、取組み状況や実績に基づき「運用が適切か」「内容を改正する必要があるか」の2つの観点から各会派で検証を実施。その後、議会運営委員会や議会改革特別委員会での課題の検討を踏まえ、「災害対策マニュアルの見直し」や「議員間討議の促進に関する申合せ事項」の見直しを実施。4年の任期中に課題の整理から解決までを終えるスケジュールを設定することが望ましい。

◇議会広報誌は各議員にタブレットによりグループウェアシステムにて編集するため、一同に会しての作業は行わず、議員の空き時間に作業が可能となり効率化が図られているとともに、全ページがカラー化され、写真を多く活用し、ページ数も多く充実したものであった。Facebookでの発信は議員が輪番制で一定例会あたり1人3回程程度投稿し、各議員の個性を出せることが特徴である。

議会報告会は、2部制（議員による報告会、市民との意見報告会）であり、令和2年度以降はコロナ禍のため見送ったが、代わりに議会アンケートを実施し、2,200件を郵送し、回答は847件（回答率38.5%）であった。市民の意見は所管する委員会に提示し、議会として対応すべき事項の検討を進めている。市政や市議会にいかに市民に関心を持ってもらうかということが課題であり、そのために手に取ってもらえる広報誌づくりや見やすい分かりやすいホームページ、タイムリーなSNS発信など情報発信の強化が必要であることを改めて確認した。